

グループホーム大社 運営推進会議 報告書

(令和 6年度 第2回)

施設名: グループホーム大社
 施設種類: グループホーム 小規模多機能型居宅介護施設 (該当に○)
 日時: 令和6年8月 会議資料郵送
 会場: 書面会議の為、御家族、各関係者へ資料配布
 出席者: (人数)

9/50

利用者代表	1人	有識者	0人
利用者家族	1人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
		その他ホーム職員	1人

1. 入居状況報告

入居者数 16名 (男性 5名 女性 11名)

※待機者数 2名 (令和 6年 6月 30日現在)

縁 ユニット	性別	年齢	要介護度	入居日	備考		
1							
2	女性	86	3	R5.7.3		センサー	6/17退所
3	女性	94	2	H31.4.13	押し車		
4	女性	90	4	R4.9.11	車椅子	センサー	
5	女性	86	2	R5.11.14	歩行器		
6	男性	90	3	R5.5.23		センサー	
7	女性	75	3	H28.12.25			
8	女性	85	3	R2.6.8		センサー	
9	女性	92	1	R3.6.30			
平均		87.3	2.6				

結 ユニット	性別	年齢	要介護度	入居日	備考		
1	女性	76	5	R5.7.18		センサー	
2	女性	93	2	R5.9.17	歩行器		
3	男性	87	3	H30.1.23	車椅子	センサー	
4	女性	94	4	R1.10.8	歩行器	センサー	
5	男性	87	2	R5.1.26	車椅子	センサー	
6	女性	93	3	R5.11.30	歩行器	センサー	
7	女性	94	2	R5.10.25			
8	男性	73	3	R6.1.29		センサー	
9	男性	82	2	R5.8.28	歩行器	センサー	
平均		86.6	2.9				

R6
ト平均 平均年齢 86.9 歳

平均介護度 2.8

70～79歳
3名

80～89歳
5名

90～99歳
8名

者は、年齢や介護度含めていません。

介護1	1名	介護3	7名	介護5	0名
介護2	6名	介護4	2名		

2. 行事活動報告

5月～6月 ※移動パン屋一月2回来訪されています。

日	手作り料理【お好み焼き、サラダ、白菜と春雨の中華風、フルーツポンチ】
	ボウリング大会
	5～6月誕生日会 3名のご利用者様が誕生日を迎えました。 ※誕生日会を行いました。当日写真撮影が上手く撮れませんでしたので、ご報告程致します。
	手作り料理【ミネストローネ、サラダ、牛肉コロッケ、フルーツ】

3. 会議、研修報告

～6月

4月職員会議

○内部研修『認知症の中核症状・周辺症状』

認知症のメカニズム 脳の細胞が壊れる事により直接起こる症状 ①記憶障害 ②見当障害 ③理解・判断力低下 ④実行機能…中核症状 等

利用者一人ひとり中核症状としてどのような症状があるのか、どの程度まで進行しているのか、周辺症状としてはどのような物があるのかを分析する。そして、何が影響しているか分析してケアの方法を考えていきたいと感じました。

古ユニットカンファレンス

5月24日	縁ユニットカンファレンス
5月	職員会議
6月4日	○内部研修『食中毒について』 食中毒の予防として ①個人の健康管理 ②調理器具の衛生管理 ③安全な水と原材料の使用 ④適切な食材の保管 ⑤適切な処理 ⑥十分な加熱 6つのポイント 高齢者施設における食中毒予防は重要な事であり、利用者様の免疫の抵抗力は年齢と共に低下しており、感染すると重度化しやすい事を再認識し、予防に繋げる事が重要に感じました。
6月13日	縁ユニットカンファレンス
6月20日	結ユニットカンファレンス

4. ヒヤリハット、事故報告

令○6年5月～6月

ヒヤリハット報告書：6件

※紫色が付いている部分は、両ユニット1名ずつ（19：00～8：30）での出来事となります。

日勤 8：30～17：30 遅番 10：00～19：00 夜勤 17：00～9：00

日付	時間	内容
5月12日	18:50	①利用者：介護度3 男性 A2 IV ②内容：お部屋にて、ベットに横になっているが不穏気味で枕を強く噛まれており、噛み切っている。訪室と同様に口の中に噛み切った欠片を口に含まれる。認知が高く自身で吐き出すことが出来ない為、職員2名にて口腔内に含まれた布の欠片を出す。 ③再発防止策：精神科受診されている方であり、夜間になると不穏状態が強くなってきた為、専門医と相談を行ってみる。
5月24日	17:10	①利用者：介護度3 女性 A1 III b ②内容：食堂にて、自席より立たれ50cm離れた場所に置いていた歩行器を片手で取られる際に悲鳴と共にバランスを崩される。職員が近くに居った為、支えて転倒を防ぐ。 ③再発防止策：位置づけを行うも自身の気分（こだわりが強く）で歩行器を色々な場所に置かれる為、位置づけ難しく食堂内の見守りを行う。
6月14日	14:30	①利用者：介護度2 女性 自立 III a ②内容：和室の窓より出られ、洗濯物を取り込みに行かれていた。 ③再発防止策：和室の補助錠使用していたがいつの間にか外されていた。新しく入社された職員も居られて補助錠の情報が共有されていない状態であった為、情報を共有出来る様に指導や申し送り伝えていく。

6月18日	16:30	①利用者：介護度3 女性 A1 M ②内容：食堂内で過ごされていたが、他のご利用者様対応の為、席を外し戻ってみると本人様の姿が見当たらず。お部屋まで行くと独歩で戻られており、布団を畳み直していた。 ③再発防止策：心臓に負担がある方で車椅子使用者であり、用事などある場合は呼び鈴を鳴らして頂く様に説明する。
6月22日	7:40	①利用者：介護度3 女性 A1 M ②内容：独歩にてお部屋に向かっておられる。 ③再発防止策：心臓に負担がある方で車椅子使用者であり、用事などある場合は呼び鈴を鳴らして頂く様に繰り返し説明する。椅子を動かした際に鈴等付けて様子を見る。
6月24日	14:30	①利用者：介護度2 男性 J 2 I ②内容：食堂に戻った際にセンサー作動していた。お部屋に訪室するとベットから窓側まで歩かれている。 ③再発防止策：体調を崩されてから歩行状態が困難であり転倒リスクの高い利用者様の為、センサーの音が廊下まで聞こえなかった為、音量を上げてすぐに行動できるように努める。

令和6年5月～6月

事故報告書：15件

日付	時間	内容
5月6日	7:05	①利用者：介護度3 女性 A1 III b ②内容：食堂にて、他の利用者様介助中に後ろよりドンと音がする。振り返ると椅子と歩行器が横倒しになっており、その横に右腕を浮いた状態で床に倒れている。外傷等症状は無。歩行状態も変わりなし。 ③原因：歩行器が少し離れた場所にあり、取ろうと思いバランスを崩されて歩行器と共に転倒されたと思われる。 ④再発防止策：自身で歩行器の場所を置かれる為、説明しながら近くに置いて頂く様に対応する。

5月9日	3:20	①利用者：介護度3 女性 A1 IIIb ②内容：廊下のトイレにて、物音と共に「いたい」と声が聞こえる。駆け付けるとトイレ内にて背中を壁にして床に尻もちをついて転倒されている。外傷等症状は無し。歩行状態も変わりなし。 ③原因：排泄は済まされていた為、洗面所の床に床に水滴が落ちており、手を洗った後に水滴で滑って転倒された様子であった。 ④再発防止策：手洗いが激しい方の為、間に合わない部分もある。センサー作動も感知されていなかった為、センサー作動の確認に努める。
5月13日	10:00	①利用者：介護度2 女性 A1 II b ②内容：他の御利用者様対応中、他の利用者様がお茶を準備（ポットから急須に熱い湯を入れる）され、本人様に湯呑をお渡しの際に足に零される。熱いお茶であった為、患部を冷やし中島医院の往診もあり、診て頂き軟膏で経過を見る様に指示される。水ぶくれ等症状は看られず。 ③原因：お茶を入れて下さった利用者様が職員に気を遣いお茶の準備をされており、お茶の準備が出来ていなかった。 ④再発防止策：常温で飲めるように急須を事前に準備し、利用者様が自由に飲める様に準備しておく。
5月18日	17:10	①利用者：介護度3 女性 A1 III b ②内容：食堂のテレビ前にて、歩行器と共に左下にして「あれ～」と転倒される。歩行器が前後逆で行動されていた様子。眩暈が一時的あったがそれ以外外傷など無く、歩行状態も変わりなし。 ③原因：歩行器が前後逆の為、バランスを崩された様子。 ④再発防止策：歩行器を変更したばかりの為、慣れるまで時間を要すると思われる。見守りに努め、使用方法が間違えている場合はその都度説明を行っていく。
5月19日	9:00	①利用者：介護度3 男性 A2 IV ②内容：手すり消毒時に訪室する床にかけ布団を巻き込んだ状態で膝をつき、上半身はベットに伏せている状態でおられる。立ち上がりが出来ず2名の職員で対応する。起立などに異常はなし。 ③原因：抱き枕を使用せずに休まれており、寝返りをされる際布団と一緒に滑り落ちたと思われる。 ④再発防止策：抱き枕し様にて安定し休まれていた為、抱き枕を忘れずに抱えて休んで頂く。

5月23日	7:10	①利用者：介護度2 女性 J2 II b ②内容：食堂にて、奇声が聞こえる。食堂内見ると別ユニットの利用者様と手と手の取っ組み合いをされている。相手の利用者様が興奮されて強く握っており、落ち着いて頂く様に促し手を離して頂く。手を確認すると赤み帯びており、第4指が徐々に腫れが見られる。看護師報告し整形外科で見て頂き、骨等異常は無いとの事で湿布で経過観察の指示であった。 ③原因：口論された内容は分からないがお互い気が強い方々の為、言葉がきつく感じたのか口論になり興奮されエスカレートしたと思われる。 ④再発防止策：周りの環境を気にしながら見守りをする。一人ひとり性格を理解し職員がクッションになる様に努めていく。
5月23日	9:30	①利用者：介護度3 女性 A1 III b ②内容：食堂にて 自席より立たれ歩行器を持たれたが、ズボンの裾を靴下に入れようとされ、そのままバランス崩し床に尻もちをつかれる。外傷等症状は無。歩行状態も変わりなし。 ③原因：ズボンの裾を靴下に入れようとされてバランス崩された。 ④再発防止策：こだわりがあり、ズボン等気にされる仕草があった場合は、椅子に座ってから行う様に促す。
5月27日	13:30	①利用者：介護度2 女性 A1 II b ②内容：お部屋にて、訪室するとベッドの横に尻もちをついておられた。発熱の為歩行が困難の為、ベッドに上がって休んで頂く。解熱後には歩行状態変わりなし。 ③原因：発熱でいつもと比べ歩行状態が困難であり、ベッドより立たれる際に滑ったのかバランスを崩された可能性があり。 ④再発防止策：定期的に様子を見に行っていたが、完全に防ぐ事は出来ず。センサー使用者ではないが、いつもと比べ違う場合はセンサー使用を検討してみる。
6月10日	18:10	①利用者：介護度2 男性 A2 III a ②内容：お部屋にて、物音が聞かれ、訪室するとクローゼット前の床にズボン類を脱いだ状態で尻もちをついている。外傷など症状は無。歩行状態も変わりなし。 ③原因：失敗されており、ズボン類を下した状態でクローゼットに行かれ、バランスを崩され転倒されたと思われる。 ④再発防止策：ベッドの近くに着替えを一部置いておく。

6月16日	16:30	①利用者：介護度1 女性 A1 II a ②内容：食堂の自席にて、ドンと音がする。様子を見るとテーブルの下に尻もちをついている。近くにパズルのピースが落ちていた。外傷等の症状は無。起立歩行状態も変わりなし。 ③原因：パズルのピースを取ろうとされた際にバランスを崩され転倒されたと思われる。 ④再発防止策：職員に気を遣った様子である為、気にせず知らせて下さいねと伝える。
6月21日	7:30	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：お部屋にて、様子を見に行くとかけ布団と共に床に居られる。そのまま眠っておられ、日勤職員出社と共に起きて頂く。外傷等症状は無。歩行状態も変わりなし。 ③原因：あまり体に巻き込んでいない為、立たれる際にかけ布団を踏まれ滑って転倒されたと思われる。 ④再発防止策：事前に起床の声掛けしたが起きられず、退室したが15～20分置き様子を見に行くようにする。
6月23日	9:00	①利用者：介護度2 J2 II b ②内容：食堂の台所で立った状態でお茶を飲まれている。湯呑をテーブルに置こうとされた際にバランス崩し転倒される。両腕と下腿に擦り傷あり、カットバン処置する。その他の外傷は無く、歩行状態も変わりなし。 ③原因：湯呑を置かれる際、テーブルとの距離があった為、前傾の様に前に体を出してバランス崩されたと思われる。 ④再発防止策：台所に急須を置いていた為、本人様の自席に置いておく。飲みやすい環境にしておく。
6月24日	15:50	①利用者：介護度2 男性 J2 I ②内容：お部屋より、声が聞こえ訪室する。テレビ近くにて左側臥位で床に転倒されている。外傷等症状は無。歩行状態は以前より困難の為車椅子使用する。 ③原因：センサー使用者であるが音量が低くしている状態であった。他の御利用者様対応中に聞こえにくかった。 ④再発防止策：音量低くしていた様子。音量を弄らない様にする。

6月25日	23:30	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：トイレ誘導し、敷き布団など失敗されている為、交換を行う。トイレに戻ると洗面所近くに立たれていたが、靴のマジックテープを直そうとされた際にバランスを崩され、洗面所の角に頭をぶつけられる。腫れ外傷等経過を見るが見当たらず。以降も症状はなし。 ③原因：靴を直そうとされかがみバランスを崩された為 ④再発防止策：靴などきちんと履いているのか確認を行う。
6月26日	8:20	①利用者：介護度3 A2 IV ②内容：訪室時、ベットを背にして床に座っている状態であった。センサーが設置していない状態であった。外傷等症状は無。起立困難の為、2名でベットにご案内する。 ③原因：靴下を履いたまま休まれており、ベットより立たれる際に滑った様子であった。 ④再発防止策：センサー設置も大事であるが、靴を上手く履かない方の為、もし立たれても戸い様に靴下ほど脱いで休んで頂く様にする。

5. 意見、質問等

出雲市役所高齢者福祉課

■事務所もしくは法人内の他事務所にて、外国人介護人材の雇用実績やその意向などありますか？

□ホームより、ご質問ありがとうございます。外国人介護人材の雇用実績はありませんが外国人介護人材を取り組みなど行う予定となっております。現在派遣で2名ブラジル人の方を受け入れています。またこの先日本人の介護人材は少なくなる可能性があり、本格的に外国人介護の人材を経営者が受け入れる事を検討しております。

■食中毒についての研修後、クッキング活動で変更した所はありますか？（例えば加熱する料理のみ利用者が行う等）

□ホームより、ご質問ありがとうございます。特に変更した事はなく、消毒や調理前にはしっかり手洗い等行って調理を行って頂く様に努めています。

■米の品薄や高騰が続いていますが事務所での食事内容の変更があったりされましたか？

□ホームより、ご質問ありがとうございます。業者発注の為、食事内容変更はなく、米等賞味期限が長い食材などは多めに発注や購入しています。備蓄の形になるかも知れませんが、食材の種類に応じ、気候や温度、湿度、保存方法などにも注意しております。

あんしん支援センター

■内部研修「食中毒について」夏から残暑ではまだ暑い日が続いています。食品の管理や提供など続け、注意して対応いただければと思います。

□ホームより、ご覧いただき、ありがとうございました。引き続き食材の管理や調理など注意して努めてまいります。

■ヒヤリハット 5/12 18:50 職員様での対応も大変であったと思います。自歯・義歯の装着等で変わってくるとはと思いますが、口腔内からの異物除去時のスタッフの方の安全（指を噛まれる。負傷する等）にも注意して対応いただければと思います。

□ホームより、ご覧いただき、ありがとうございました。職員の安全も取りながら利用者様の対応に努めて参ります。

■新規入居者の受け入れについて 6/30時点では16名。職員体制もあると思いますが、その後の受入状況はどうですか？

□ホームより、ご質問ありがとうございます。現状他の職員より、利用者を受け入れると対応が難しいと言われる事が多く、また私事も夜勤に入ったり、休日出での現場に入り、管理での入所関係が難しく、申し訳ございませんが保留にしております。

民生委員

■今年の夏はことのほか暑さが厳しく、お世話の方大変だったとお察し申し上げます。また、入居者の方々も体調の変化はいかがでしょうか？元気で夏を乗り越えたようにで何よりでした。夏ならではの行事などもあれば入所の方々も喜ばれると思います。職員の方だけでは企画運営には限界があると思いますので、ボランティアの方にご協力いただいて見るという方法もありますよ。

□ホームより、ご覧いただきありがとうございます。ボランティア受け入れの話を頂いている所、なかなか進めずに申し訳ございません。現状管理体制が現状難しく、退職された方々が行動力や実力が等備わった方々でした。私事も夜勤、休日出など現場に入っていますが追いつかない状況になっております。改善できるように努めておりますが、時間が掛かり入所待ちの方、他の方や職員にも大変ご迷惑をお掛けて申し訳なく思っております。

ご家族様

■いつも母が大変お世話になっております。本当にありがとうございます。ご丁寧に文書を送っていただき、ありがとうございました。全部読ませていただきました。事故報告書何件かある内、母のことと思われる例が多くあり、皆様にご迷惑をお掛けしているなと大変申し訳なく思っております。〆はご存知のとおり何かこだわりが強く我家でも同じでしたから本当によくわかります、言っても分からず困っていましたので、スタッフの皆様の困りがよく理解できます。本当にすみません。今後もしろいろと問題を起こしそうで心配ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

□ホームより、いつも大変お世話になっております。こちらでも色々にご家族様にご心配をおかけして申し訳ございません。H様がグループホーム大社で穏やかに楽しんで生活できる様に努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

次回開催は令和 6年 9月に運営推進会議（第3回）予定しています。

開催日時については改めてご連絡させていただきます。